

【競技上の注意・連絡事項】

1. 開会式、代表者会議は行わない。
2. 競技規則は、日本バスケットボール協会制定の現行の「バスケットボール競技規則(新ルール)」による。使用球は、男子は日バ協公認の7号ボール、女子は同6号ボールとする。
3. エントリー変更については、「エントリー変更届」を10部作成し、第1試合については、試合開始30分前までに、第2試合以降については、前試合のハーフ・タイムまでにコート主任(競技本部)に提出すること。それ以降のエントリー変更は認めない。また、単なるユニフォーム番号のみの変更は認めない。なお、様式は山形県協会HPからダウンロードしたものを用いること。
4. 競技開始時刻は、原則として指定時刻による。前試合が遅れた場合は、前試合の終了10分後に開始する。
5. 1チームでベンチに入ることができるのは、監督1、コーチ1、アシスタント・コーチ1、マネージャー1、選手15の合計19名以内である。エントリー以外の者は、観覧席で応援すること。
6. スコアシートへのサインは、試合の指揮を執る者が行うこと。ゲーム中、チーム・ベンチ・エリアで立ち続けていることができるのは、コーチだけである。
7. 第1ピリオド及び第3ピリオドが始まるときの合図は3分前・1分30秒前であり、30秒前の合図はないが、速やかに試合開始・再開できるように努めること。第2ピリオド及び第4ピリオドが始まるときの合図は30秒前であるが、速やかに試合再開できるように努めること。
8. チャージド・タイム・アウトの際は50秒が経過したことを知らせる1回目の合図で直ちに準備をして、1分(60秒)が経過したことを知らせる2回目の合図で試合が再開できるように努めること。
9. チャージド・タイム・アウトは、コーチまたはアシスタント・コーチがチーム・ベンチ・エリアから出てオフィシャルズ・テーブルのところに行き、直接スコア・キーパーに対して請求すること。ただし、ヴィジュアル・コンタクトがとれる場合は、チーム・ベンチ・エリアから合図をしてチャージド・タイム・アウトを請求してもよいが、ヴィジュアル・コンタクトの対象となるのはあくまでもスコア・キーパーだけであり、コーチからのヴィジュアル・コンタクトに気付くことはスコア・キーパーの義務ではない。
10. チャージド・タイム・アウトやプレイのインタヴァル(ハーフ・タイムも含む)の間に交代するときは、交代要員はスコア・キーパーに交代の申し出をすること。ただし、このときのスコア・キーパーや審判の合図はない。
11. マネージャーは、試合終了後に、チーム用のスコア・シートを審判より受け取ってからコートを去ること。
12. ユニフォーム等に着替える場合には、更衣室で行うこと。ベンチ・エリアなどアリーナ内や観覧席では行わないこと。
13. プログラムで先に記載されているチームのチーム・ベンチ及びそのチームのバスケットは、センター・サークルからオフィシャルズ・テーブルに向かって右側とし、前半に攻撃するバスケットは、相手チームのチーム・ベンチのあるほうのバスケットとする。また、ハーフタイムの練習は、3分前の合図があるまで認めるが、ハーフタイムやゲーム前のウォームアップも、前半に攻撃するバスケットのあるコートを使用する。
14. T.Oは、前もって決められている試合の他は原則として前試合の敗者チームが行う。
15. 各会場は午前8時開場とする。
16. 貴重品等については、各チームの責任で厳重に管理すること。また、会場・施設の使用については、会場の係の指導・指示に従うこと。
17. ゴミは、各チームで責任を持って持ち帰ること。
18. 喫煙は決められた場所以外では行わないこと。